

修学旅行 in 沖縄

袴田萌衣 井上麗菜 大石涼音 加美実優

スキューバーダイビング



2日目、3日目はピンクマーリンクラブさんにご指導いただき、スキューバダイビングをしました。スキューバー1日目には午前中は基礎を学び少し潜りました。午後には座学でスキューバーダイビングに必要な知識を学びました。2日目には筆記のテストをおこなったあと、1日目より深く長く潜りました。

深くなればなるほど生き物がたくさんいました。また、深く潜ると水圧が大きくなり、耳や頭が痛くなりました。そこで、こまめな耳抜きを意識してやりました。水中では声が届かず言葉でのコミュニケーションが出来ないためハンドサインを教えてくださいいただきそれを使って会話をしました。スキューバーはとても危険なため落ち着いて行動することがとても重要だと思いました。また、ペアを組み助け合いをしたりコミュニケーションをとったりすることでより安全にスキューバーを楽しむことができました。

首里城



最終日には首里城を見学に行きました。
私たちが行った時には工事中の建物が多くあり見学
できる建物が少なかったです。
でも、日本とは思えない見た目、雰囲気味わうこと
ができました。とても圧倒されました。
また、首里城から見る沖縄の景色はとても綺麗でし
た。工事が終わってからの完成系もみたいと思いまし
た。

糸数アブチラガマ(糸数壕)

沖縄本島南部の南城市にある自然洞窟(ガマ)です。

ここは実際に使われていた避難指定壕でした。

「アブチラガマ」とは、「アブ」深い縦の洞穴、「チラ」崖、「ガマ」洞窟やくぼみという意味だそうです。



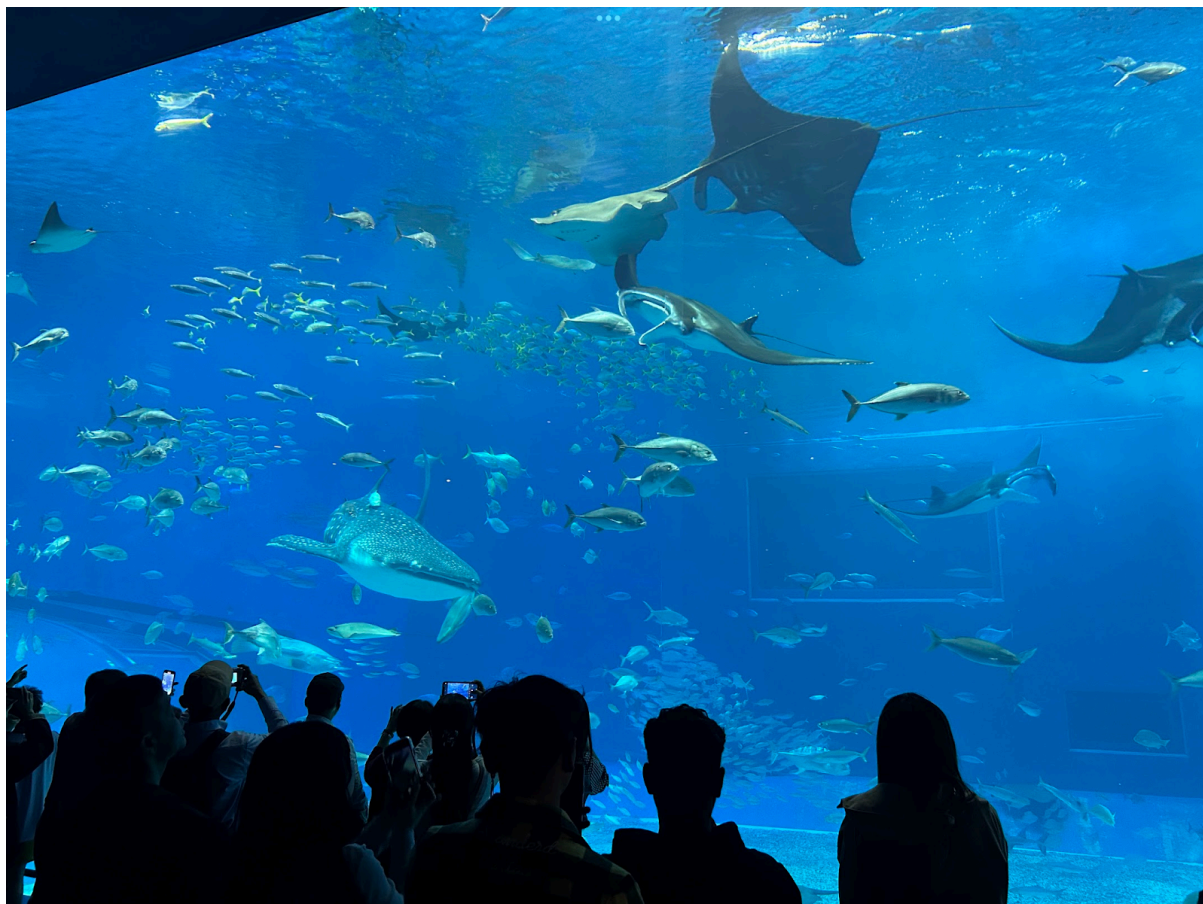
<https://co-trip.jp/spot/70010>引用

中に入るととても暗く湿気があり、足元も悪くここで長い時間過ごすのは辛いと思いました。

洞窟の中では、怪我人の治療が行われたり食べ物や水がほとんどない生活をしていたと知り、戦争がどれだけ普通の生活を壊していくのか実感しました。途中懐中電灯を全員消し、真っ暗になり水の音を聞いた時は実際にどのような暗さで空気感だったのか味わいとても怖かったです。糸数アブチラガマは、ただの洞窟ではなく、戦争の恐ろしさや命の重さを伝える場所だと思いました。この場所を実際に見たことで、平和は当たり前ではなく、大切に守っていかなければならないものだ改めて感じました。

沖縄美ら海水族館

私たちは4日目に沖縄美ら海水族館に行きました。



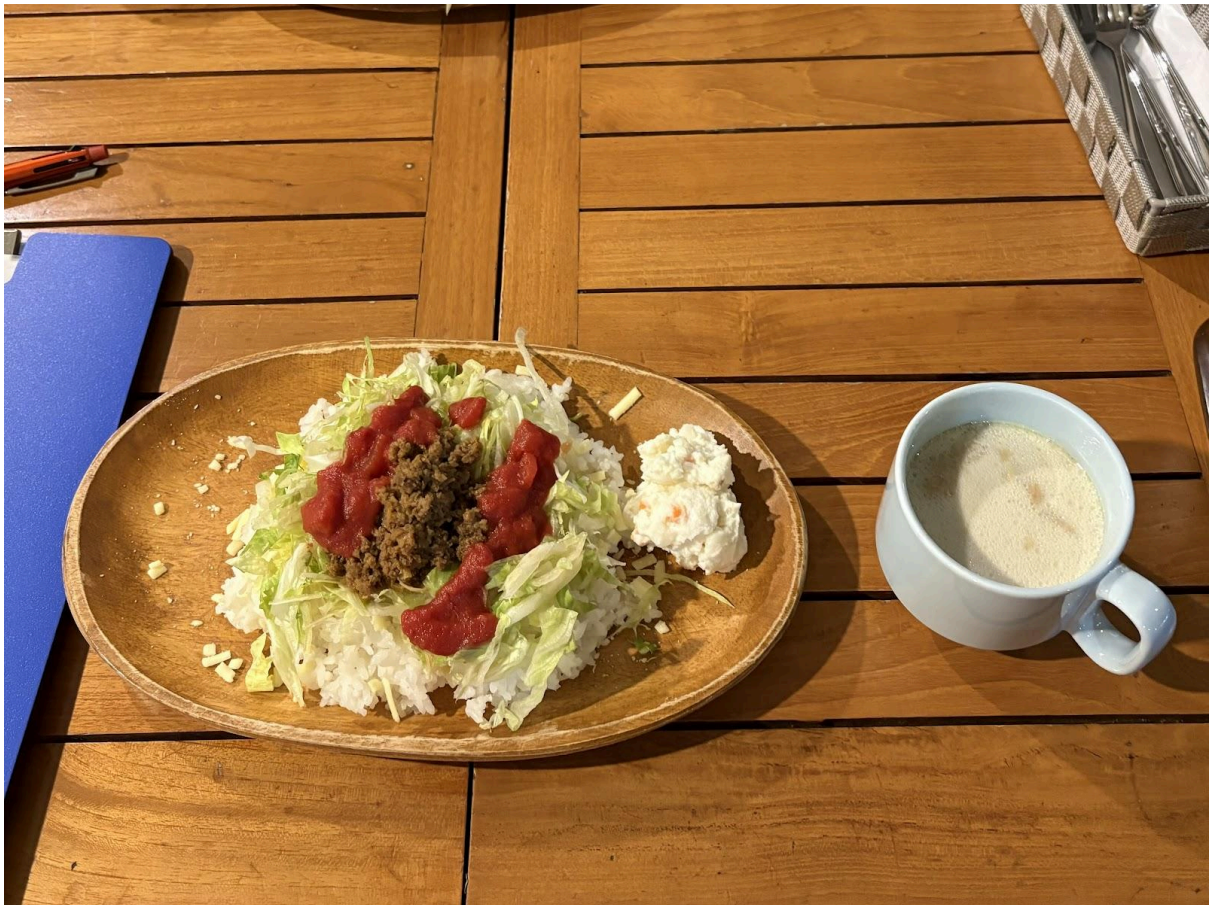
水族館の中に入ると大きな水槽があり、さまざまな種類の魚たちがたくさん泳いでいて迫力がありました。大きなジンベイザメが水槽の前を自由に泳ぐ姿は圧巻でした。ナンヨウマンタの餌やりの最中を見ることができました。水中に撒かれた餌を円を描くようにダイナミックに泳ぎながら食べます。ウミガメやマナティーなどあまり見ることができない生き物がたくさんいてとても楽しかったです。深海魚エリアや黒潮エリアなどたくさんのエリアに分かれていて時間いっぱい楽しむことができました。沖縄の綺麗な海ならではのサンゴ礁エリアは、屋根がなく沖縄の日差しを直接取り込む構造となっており、約80種類の色とりどりのサンゴ礁がありとても華やかでした。

国際通り

国際通りは、お土産屋・沖縄料理店・雑貨店・デパートなどが立ち並び、観光客で常に賑わう「沖縄の顔」とも言える場所です。沖縄の特産品がなんでも揃います。私の班では、夜ご飯にステーキハウス88に行きました。店員さんがとても明るく元気でフレンドリーな人達ばかりで、楽しく食事ができました。水も無くなる前に補充してくれました。ステーキの他にハンバーグやアイス、白米なども食べられました。お土産の店では、沖縄でしか売っていないものが沢山売られていました。沖縄仕様のキャラクターのものが沢山あり、賑やかな店ばかりでした。12月だったため、クリスマスツリーも飾られていました。



ピンクマーリンクラブで3泊4日しました。



ホテルの食事では沖縄ならではの料理があり、いろいろな伝統料理があることを知りました。1日目の晩御飯でココナッツのスープが印象に残っています。ココナッツミルクがベースになって中には鶏むねにくとしいたけが入っていました。あまり馴染みのないものだったのでいい経験ができました。

スキューバダイビングのテストの合否発表が終わった後全員でバーベキューをしました。みんなでお肉を焼いて写真をとったりして楽しむことができました。夜にみんなでコンビニに行ったり、テスト勉強をしたりとたくさんの思い出ができました。

修学旅行

1日目

メンバー えいと さかき いちご せんじゅ

えいと作

1. 1日目 僕たち4人班は6時50分に八戸駅に集合しました。点呼を取り先生に報告するしました。出発式を終え、八戸駅を出発しました。10時に東京駅に着きました。大きなビルやたくさんの方がいました。東京駅から浜松町まで行き、モノレールに乗り換えしました。モノレールに乗り羽田空港まで行きました。空港にあるレストランでお昼ご飯を食べました。とても美味しかったです。食事を終わると、荷物検査を受けました。何回かエラーが起こり焦りました。結果的に成功したので安心しました。そしてついに飛行機が離陸しました。JAL917便に乗りました。人生で初めての飛行機で恐怖と好奇心がありました。離陸直後は揺れのせいでとても気持ち悪かったです。時間が経過するとともに良くなりました。飛行機の中ではネットが使え無いので、映画を見ました。たくさん種類がありました。映画に飽きたので寝ます。飛行時の窓から見える景色はとても綺麗でした。3時間の飛行の末、那覇空港の着陸しました。青森とは気温の差があり12月でも暖かかったです。そのあとはバスでオーシャンリゾートPMCに行きました。夕食を食べ、オリエンテーションを行いました。ダイビングスーツフィッティングをしました。自分にあうサイズのスーツやシュノーケル、ブーツな

ど合わせました。



2日目、3日目（福土作）

2日目あたしたちは初めてのスキューバダイビングをしました。まず1番最初にインストラクターから器具の使い方を教えてもらいました。そして最初は足がつくところで器具の使い方を確認し、そのあと少し奥の方に行き潜って海に慣れてきたときに技術練習をしました。技術練習の最初は、みんな焦ったりして潜れず水面にあがってしまうことがありました。だけど水面にあがったときにインストラクターからアドバイスをもらいなんとか技術練習を全部終わらせることができました。

3日目では、班のみんなが海に慣れてきた状態で始まりました。最初から奥の方まで泳いでいき下まで潜ったあとに2日目にやった技術練習の確認をやりました。結構深くて耳抜きをするのが大変でした。そして最後には、インストラクターについていき海の中の生き物をいっぱい見ることができました。レアなニモがいたりしてすごく楽しかったです。



4日目(サカキ作)

あたし達の楽しい4日目は色々なところに行きました。まず美らの海美ら海水族館に行って次にお土産売り場沖縄ワールドに行きました。午後はアブチラガマに行き心を整えた後に夜沖縄国際通りに行きました。

美ら海水族館では日本最年長のイルカが私たちが水族館に行く前日に亡くなってしまい見るができませんでした。僕たちは前日の日にそのことを知ったのでとても悲しかったです。有名な水族館なので大きさがすごくとても広かったです。

沖縄ワールドでは鍾乳洞に入り迷路のように楽しみました。蛇の鑑賞会も見て私たちが座っているとノロノロ来るのではないかと恐ろしさも楽しかったです。



アブチラガマでは戦争で実際に使われていた場所で多くの死者がでたところでもあり少し雰囲気怖かったです。ですが戦争で亡くなった人の思いを考えると怖いよりも悲しい気持ちなどがでてきてすごく大変だったということがわかるような場所でした。

国際通りではオリオンのTシャツやドンキ、ステーキ88に行きました。すごく充実した夜を4人で楽しむことができました。

5日目（一護作）

5日目、修学旅行最後の日は、首里城に行って観光して来ちゃいました。2019年に火災がありまだ工事中の建物がところどころあり、ちゃんと見れないところがあったけど、大きい門や城の頂上から見る沖縄の景色がとても綺麗でした。今度観光に行くときは工事が終わった首里城をみたいと思いました。





🌸 OKINAWA修学旅行 🌸

2A 阿部千笑 金澤蒼空 近藤佑妃 差波心美

Day1. 沖縄へ移動!!

新幹線・飛行機・モノレールの乗り継ぎで沖縄まで移動しました。

お昼ご飯は東京駅、夜ご飯は2日間泊まったOcean Resort PMCで食べました。飛行機は、空の上から見る景色がとても綺麗でした。ほとんどが移動だったことと1日目でとてもわくわくしていたのですごく疲れました。

沖縄に到着し、気づいたことはやっぱり青森と違って広くあったかくて人が多く最初はあまり慣れなかったけど徐々に慣れてきました。ホテルまでのバスでは、バスガイドの方が沖縄についての話や沖縄の方言について教えてくれました。ホテルの夜ごはんは、沖縄で食べられるタコライスとココナッツのスープができました。🍷🌴タコライスは、少し辛くココナッツのスープは濃厚で今まで味わったことが無いような味をしていました。この日は、たくさん沖縄のことについて知ることができるいい一日になりました!!



Day2.スキューバダイビング!!

朝6時20分に全員で散歩と体操をしました。
朝ご飯を食べたら慣れないウェットスーツを着て海へ移動!!



まずは器材のセッティング、調整、装着の仕方を教えてもらい練習しました。全ての準備を覚えながら実際にやってみるのが難しかったです。何回か練習をして慣れてきたら、みんな迷いなく準備通りに装着することができました！最初に海に入る時はシュノーケルとフィンだけで入り泳ぐ練習と呼吸の練習をしました。砂浜に戻ったら器材を全て装着し海に入りました。マスククリア、オクトパスブリージングアクセント、スノーケルクリアなどのスキルテストも行いました。特に水中でマスクを一度外し、付け直すマスククリアはみんなとても苦戦しました。口呼吸だけを続ける事と水を怖がらず落ち着いて行うのが大事だとわかりました。初めてのスキューバダイビングで難しいことがたくさんあったけれど意外と上手くできてとても楽しかったです！

午後からは学科講習を受けました。午前の実習の復習を含めながら学科テストの勉強をしました。実習でやった部分はすぐに覚えることができたけれど、計算問題を理解するのが特に難しかったです。



Day3.スキューバダイビング最終日!!

朝6時20分にみんな集合し、体操をしました。まだ外は暗く、月が出ていて満月🌕でした。

Aグループは午前中に学科テストをやりました。教科書を何度も読み直してなんとかのり切りました。

午後はビーチに行き、潜りました。やはりスキューバダイビングの器具が重く、歩くのがとても辛かったです。重いよーと騒ぎながら海へ！

昨日のおさをやりましたが、シュノーケルを水中で外してもう一度つけ直すというのがとても難しくて手こずりました。そのあとはいろんなところに泳ぎに行きました。横をみるとサンゴがあり、水族館にいるような色鮮やかな魚がたくさん泳いでいました。その中でも印象的だったのがウミウシという生き物です。イメージとは違い、細くて長く、草のような見た目をしていました。

海から上がったあとは写真を撮り、ビーチで探検をしました。天気が良く太陽が海に反射しても綺麗でした。着替えるところで、猫がいてのんびりしている姿が可愛くてみんな癒されました。浜辺に落ちている貝がらやサンゴを集めたり、砂に文字をかいて最後の沖縄の海を楽しみました！

夜ご飯はみんなでバーベキューをしました。おにぎりと一緒に肉を食べ、お互いに講習頑張ったねと労い合いました。

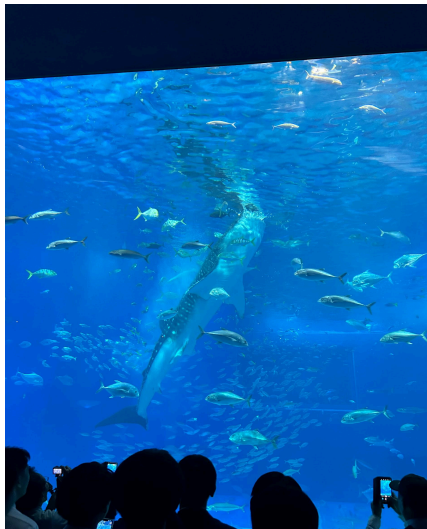
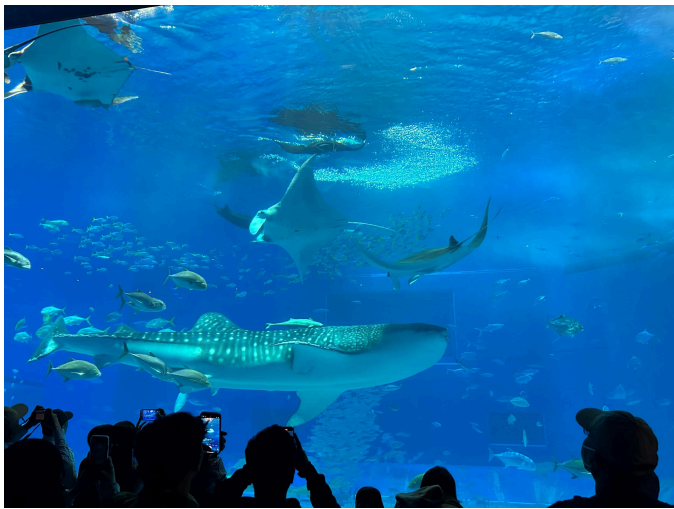


Day4. 沖縄巡り&平和学習!!

この日は朝から美ら海水族館に行きました。開館とほぼ同時に到着したのに平日にも関わらずでにたくさんの方がいて驚きました。中に入ったらまず、巨大水槽でのジンベイザメの大きさに圧倒されました。ジンベイザメだけでなく、真っ黒なマンタや他の魚もたくさんいました。八戸や青森の水族館と違い、色とりどりの魚や熱帯魚のような個性的な形をした魚など普段見ることのできない様々な海の生き物を見ることができました。🐟🐙🐡

お昼からはおきなわワールドへ行きました。はじめにみんなでお昼を食べ、午後は園内を散策しました。途中で地下にある鍾乳洞の中も歩きました。沖縄とはいえ、冬なのに外より鍾乳洞の中の方が暖かったです。たまに上から水が滴り落ちてきて、鍾乳洞もまだ生きているんだなと感じました。また、園内にいた三線を弾くおじさんからたくさん沖縄について教えてもらいました。散策ついでにお土産を買ったりしました。🎁🌟

夕方は実際に沖縄戦で使われていたというアブチラガマへ。ガイドさんの案内のもと、狭い出入口をくぐって懐中電灯を頼りながら真っ暗なガマの中を見学しました。入った瞬間空気が変わり、治療の道具や目隠しのための石積みなどほとんど当時のまま残っているところもあって沖縄戦での痛々しさがひしひしと伝わってきました。また、階段など足場が悪かったり、病にかかった人は助けられずに捨てられたり手術をするときも麻酔がなかったりと生活しづらく、苦しく大変な中で何日何十日も過ごしていたと分かり、ガマでの生活がどんなに大変だったかを知らされました。このガマでの体験を通して戦争はあってはならないということを改めて知りました。また、戦争の悲惨さを風化させず、私たちの代で途切れることがないように次代に伝えていきたいと思います。



Day5. 沖縄から八戸へ...

朝6時に起床し、その後朝ごはんを食べて移動の準備をしホテルを出発しました。
この日の日程は、首里城に行った後那覇空港へ移動し那覇空港を出発した後は羽田空港まで行き、そのまま電車・新幹線に乗り八戸まで帰ってきました。✈️🌺

まず、首里城ではバスガイドの人と一緒にクラス全員で回り、首里城のいろいろな門・城を見たり石の道など歩き少ない時間だったけど沖縄の歴史に触れることができました。最後には、クラス全員で写真撮影などし首里城を満喫することができました。残念ながら首里城の中には入ることができなかったけれど、首里城の奥に進み階段を上り1番高いところから見た沖縄の景色が最高に綺麗でした!!また行く機会があったら行きたいなと思いました。



首里城を見た後、バスで那覇空港✈️まで移動しました。バスの中では、バスガイドの方が最後の思い出として沖縄県でよく歌われる歌を歌ってくださったことが今でも印象に残っています。全員で歌に合わせて、手拍子をしたり一緒に歌ったりしみんなで楽しむことができました!!

飛行機に乗り、行きと同様に八戸まで戻ってきました。帰りは、ハプニングもあり無事に全員で戻って来れるか心配だったけど、全員で安全に帰って来れたのでよかったです!!

飛行機を降りて新幹線で八戸に戻ってくる時は、「もう修学旅行が終わってしまったのか」と少し寂しい気持ちになったけど沖縄でたくさん思い出を作ることができたし、スキューバダイビングなど他であまり経験をしない体験をすることができたのでよかったですと思います。八戸に帰ってきてやはり、沖縄と違い八戸はとても寒くて北と南でこんなにも違うんだなと感じました。

修学旅行を振り返って、最初はスキューバが不安だったけれどスキューバも楽しくやり切ることができました。また、沖縄のいろいろな景色・歴史に触れることができ良い修学旅行にすることができました。最後まで楽しく、笑顔で終わることができたのでよかったです。機会があればまた行きたいです!! 🌺🌴

let's go OKINAWA



メンバー

音喜多諒成

小森大輝

夏堀斗真

竹内善士

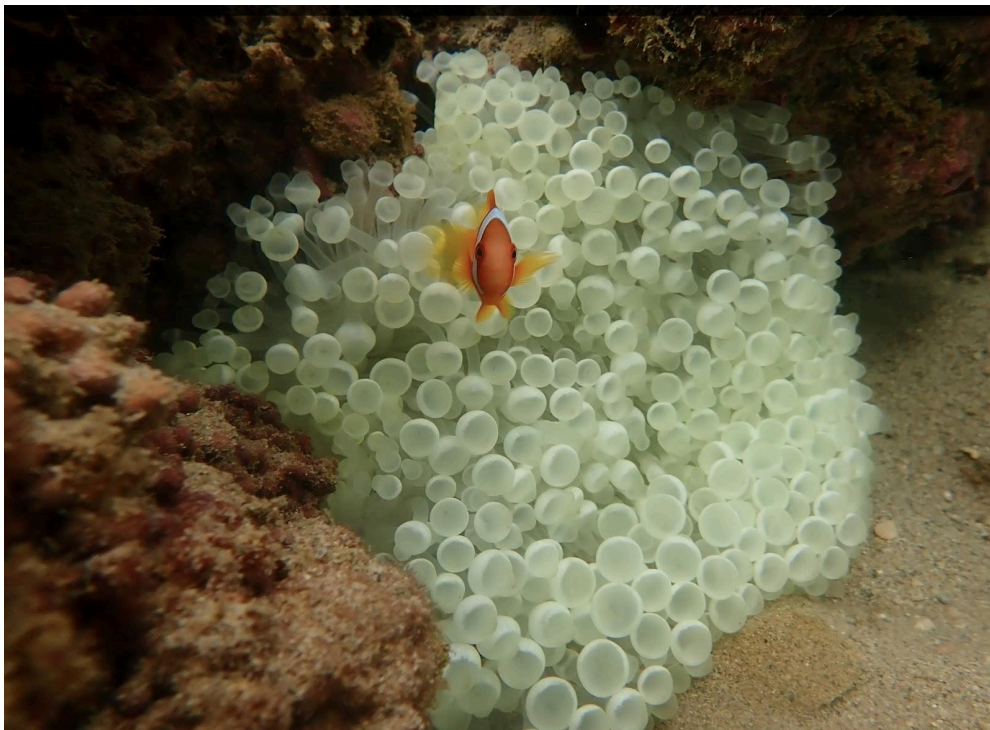
込山稜翔

移動

新幹線に乗り八戸駅を出発しました。東京駅に到着後、電車・モノレールに乗り継いで、羽田空港に向かいました。到着後、空港内で昼食をとりました。しばらくしてから、飛行機に乗り羽田空港を出発しました。飛行機の窓からは沖縄の青い海が見えました。那覇空港に着いてから感じたことは、12月であるのに、青森と比べて湿度が高く、蒸し暑かったことです。その後、ホテルへ向かい夕食をとりました。そして、次の日のスキューバダイビングに向けて、ウェットスーツやマスクの準備をしました。

スキューバダイビング

スキューバダイビングをしてみて、沖縄の海の美しさと海の恐ろしさを実感しました。まず、八戸の海との違いは海の透明度やゴミの少なさです。その分沖縄には様々な種類の海洋生物やサンゴ礁などの海洋植物などがいてとても綺麗でした。スキューバの実技テストではマスク脱着が1番の難関で何度も失敗し、死を覚悟しました。最後に自由に泳ぐときには、初めて生で海亀やクマノミなどを見ることができて、最終的にはとても楽しいスキューバダイビングになりました。



美ら海水族館

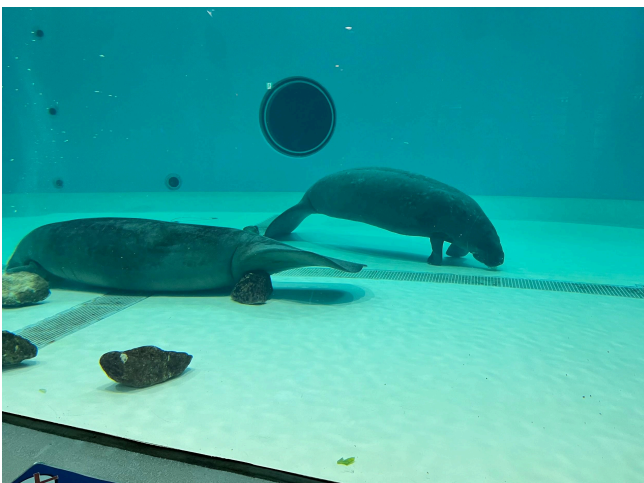


4日目は、沖縄の海の生物を存分に知り尽くすことができる美ら海水族館に行きました。全長

8.8mのジンベイザメがいる「黒潮の海」では、色々な生き物を見ることができました。

マンタやエイなどの普段見ることができないような生物をたくさん見れて楽しかった。

他にもマナティーやウミガメなどの生き物や、いくつかの種類のイルカショーも見れてよかったです。



沖縄ワールド

沖縄ワールドは、沖縄の自然と文化を楽しく体験できるいい場所だと感じました。特に玉泉洞は圧巻で、長い年月をかけて形成された鍾乳石の数々が神秘的でした。洞内はひんやりしていて、外の南国の暑さを忘れさせてくれるくらい綺麗で圧巻だったのも印象的です。また沖縄ワールドの中にあつた動物園のようなところも印象的で沖縄の暑さだからこそ飼育できる生物もいて新鮮でした。



アブチラガマ

糸数アブチラガマでは、沖縄戦時に日本軍の陣地、倉庫として利用されました。そこに避難してきた人や負傷してきた兵士の話を聞きました。改めて、自分たちが生きているありがたみなどを知ることができました。



🌸国際通り行ってきました🌸

12月6日修学旅行4日目の夜国際通りを散策しました。



最初にステーキ88を食べに行ってきました。

肉がとても柔らかく、噛み合わせた時に肉の繊維が切れて行ってとても美味しかったです。



ステーキを食べた後は散策しました。

青森とは別世界で街が賑やかで人もたくさんいました。

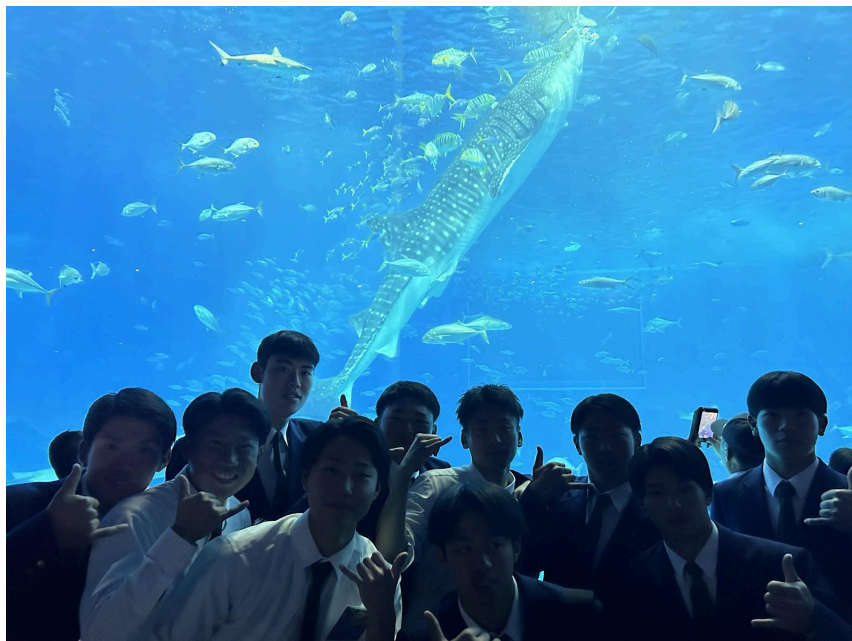
その中でもお店の人とお話をして沖縄の人の人柄の良さに気が付けたし、コミュニケーション能力もつきました。人生経験にもなりました。

一言MEMO

沖縄の女性はちゅらさんでした(笑)

修学旅行を通して

A-3班 市澤滉大 齊藤広悟 笹川裕叶
白川雄梧 柳町豪



スキューバダイビング

沖縄についてから初めての實習でスキューバダイビングを2日間しました。

1日目は、基本的な泳ぎや緊急時に必要な行動を学びました。自分は初めての海で海水のしょっぱさに驚きました。慣れない装備や重さに戸惑いながらも、しっかり泳ぐことができました。沖縄の海は透明度が高く、泳いでいる魚や遠くの沖の方まで見ることができました。無事1日目を終えることができました。しかし、班の中には海に潜れないという人が2人おり、苦い思いをしていました。

2日目は、1日目に学んだ動きの応用とスキューバの資格を取るための試験を行いました。1日目よりも沖の方に潜り、深さも1日目よりも倍以上深かったです。泳げない2人(笹川くん、市澤くん)も最後の方には海に慣れて泳ぐことができていました。浅瀬では見られなかった魚や海へびなどを見ることができました。

初めてのスキューバダイビングでは、楽しみと不安がありました。最終的にみんな楽しんで終わることができました。



おきなわワールド

おきなわワールドでは、沢山の見所や動物、お土産が売っており満足するまで見ることはできないほど広くて楽しかったです。

具体的には、鍾乳洞や爬虫類、シーサーやお土産が、沢山ありました。

鍾乳洞では思った以上に長く深くてスマホの電波も届きませんでした。

そして入った瞬間から湿度がとても高く、気温もとても高かったです。また、様々なエリアがあり、水の中に小さな生物もいて面白かったです。



次に昼ご飯では、バイキング方式で様々な沖縄の料理がありました。

見たことない料理も多くあったけれどどれも美味しかったです。

特にタコライスと海ぶどうが美味しくて沢山食べました。

今回の修学旅行で食べた物の中で1番美味しかったです。

買いたい物が沢山あり、みんな値段を見ずに買い物かごに入れていました。

最後に沢山一気に買って、3万円位を一気に使いました。



アブチラガマ

沖縄戦争で使われたアブチラガマという防空壕に入りガイドさんによるお話を聞きながら、一周しました。防空壕の中には一切光が入らず、怖さがありました。ですが当時の人たちはこの防空壕が入りたかった場所であり入れない人もいたほど激しい戦争だったと話していました。また、防空壕の天井には鉄板がくっついていてガイドさんの話では米軍の攻撃で防空壕の中で爆発が起きその時にくっついたものだと言っていました。これから戦争を知る人が減って行くけどこの事実を風化させてはいけなと感じました。



美ら海水族館

沖縄に来てから初の観光が始まり、とても嬉しかったです。この水族館の魅力は日本では数少ないジンベイザメがいるところです。最初にそのジンベイザメを見に行きました。とても綺麗で魅力的でした。餌の時間と重なり、珍しい動きも見ることが出来ました。自分の中で印象に残っているのは黒マンタです。マンタ自体を初めて見て真っ黒なマンタがカッコいいと感じました。イルカショーもやっていて浅虫水族館とは少し違い屋外でとても開放的なイルカショーでした。いろいろなお土産を買うことができました。

国際通り

自分たちは4日目の夕方から国際通りに行った。自分たちの班は初めに「ステーキ88」という沖縄ならではのステーキ屋に行った。自分は初めてステーキ屋のステーキを食べた。店内の雰囲気も良く、お肉もジューシーで美味しかった。ソースのバリエーションも多く、ライスも食べ放題で高校生には優しいお店だった。店員さんも海外の方だったが、日本語が上手でノリが良く楽しくご



飯を食べれた。



そのあとは国際通りにあるドンキに行き、オリオンのTシャツやシーサー、お菓子などをたくさん買った。国際通りにある琉球ガラスのお店にも行きたかったがやっていたなくて残念だった。国際通りの雰囲気が良く、活気のある良いところだと思った。お店ひとつひとつに特色があり、どれも目に留まる装飾をされていて見ていて楽しかった。ホテルに戻る途中にイルミネーションがあった。修学旅行に行った時期は12月でクリスマスに近いことがあり、クリスマス仕様だった。沖縄にいと寒さがないため冬の季節の感覚がなかった。

修学旅行で沖縄に行って青森とは違う気候や植物で同じ日本なのかと思いました。4泊5日でスキューバダイビングや様々な場所に行き貴重な経験が出来ました。初めて飛行機に乗りました。最初は怖かったけど慣れ、楽しかったです。最後の修学旅行で最高の思い出が出来て良かったです。



修学旅行

3B 吉田晴音 三浦真斗 舘野泰誠
四竈大翔 坂本壮駿

🤿スキューバダイビング🐟



2日目と3日目はスキューバダイビングをしました。

2日目は最初にスノーケルを使って海の中で呼吸をしたり起き上がり方、フィンの付け方など基本的なことを学びました。その後に酸素ボンベやジャケットをつけて海に入りました。レギュレーターの使用方や海の中での沈み方、マスクに水が入った時の対処法などを学びました。座学では、事前学習では学ばなかったより専門的な知識やスキューバダイビングをすることで起こりうる病気のことなどを学びました。

3日目は2日目よりも深いところに潜って実習しました。その時は中性浮力とバディと酸素切れになった時の酸素のもらい方のハンドサインやオクトパスの渡しかたを習いました。中性浮力は姿勢を維持したり、同じ高さで泳ぎ続けることが難しくちゃんと泳ぐことと、酸素のもらい方では吸った息を吐きながら相手のオクトパスを貰って吸うのも難しかったです。そのあとは魚とかサンゴを見ながら泳いでスキューバをたのしむことができました。機会があればまたスキューバダイビングをしたいです。

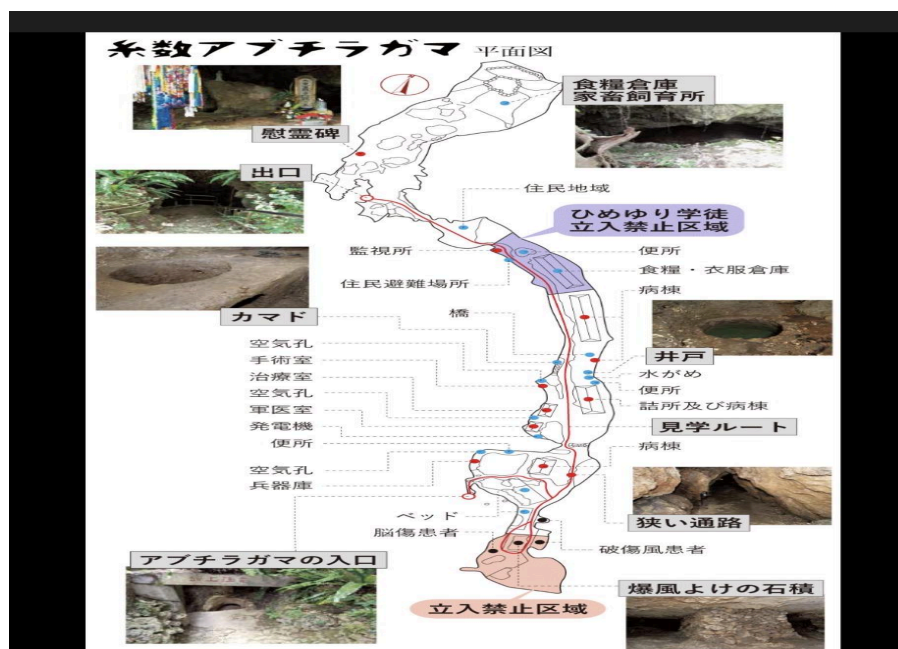
～平和学習（アブチラガマ）～

4日目はアブチラガマで平和学習をしてきました。僕たちはまず最初に怪我人や病人が隔離されていた場所を見学しました。ライトを全て消して黙祷を捧げました。静まり返ったガマの中では水が流れる音が響いていました。その後命を繋いだと言われた井戸がある場所を見学し、最後に実際にアメリカ軍から砲撃を受けた場所に行きました。爆破によって天井が焦げていてドラム缶が天井にめり込んでいました。

実際に洞窟の中を見学したら暗く暑くて、普段はできない貴重な体験だと感じました。ガイドさんの説明を聞き、戦争の時に人々が身を守るために使われていた場所だと知りました。

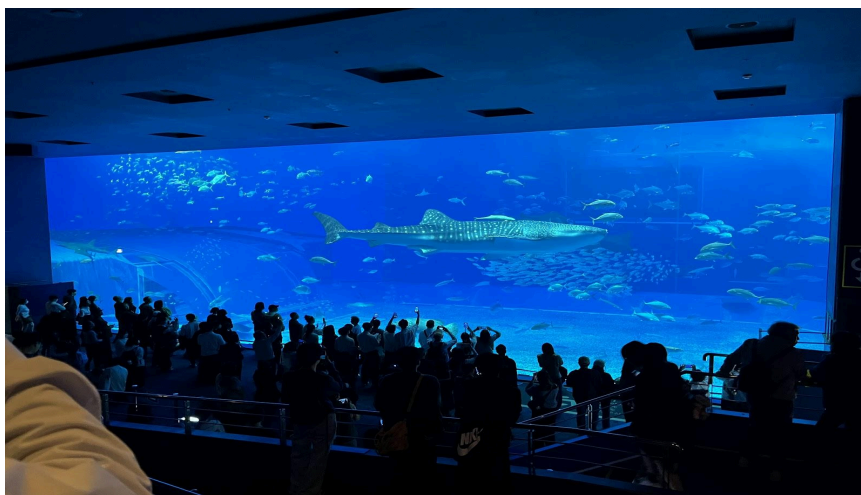
洞窟の中で話を聞くことで、当時の様子をより身近に感じることができました。人々が助け合いながら過ごしていたことを知り、命の大切さなどを学びました。

この見学を通して、改めて感じたことは今の平和な生活がどれだけありがたいことかということです。この経験を忘れず、また記憶として後世に語り継いでいくことが大切だと感じました。



<https://abuchiragama.com/>

～4日目美ら海水族館🐟～



4日目は美ら海水族館に行きました。美ら海水族館の「黒潮の海」という大水槽があります。これは日本一巨大なアクリルパネルで、ジンベイザメやマンタそして、エイを見ることができます。この大水槽で観ることができる日本で美ら海水族館にしかないブラックマンタも迫力満点で、どの生物もとても興味深く観察することができました。ジンベエザメのジンは飼育歴30年になり、世界記録を更新し続けているそうです。

ナンヨウマンタとエイのエサやりでは、小さなプランクトンをもものすごいスピードで後方回転しながら口を大きく開けてエサを食べるので、僕は初めて見たのでとても驚きました。また、サンゴ礁の海を再現した展示では色鮮やかな魚や珊瑚が多く見られ、沖縄の海の多様性を感じることができました。深海の展示では普段なかなか見ることができない不思議な形の深海の生物を見ることができました。同じ海でも環境によってここまで姿が違うのかと驚きました。また、深海を探索した機械の一部を見てすごいと思いました。

美ら海水族館はとても魅力的な水族館でした。やっぱりジンベイザメは日本の水族館には滅多にいないと思うので、沖縄に行ったら絶対美ら海水族館に行ってジンベイザメを見た方が良いと思いました。水族館に行って、改めて沖縄に来られてよかったと思いました。

🌺 国際通り 🌺

4日目の夜は国際通りで班ごとに自由行動でした。夕飯を食べたり、お土産を買ったりしました。国際通りは「奇跡の1マイル」と呼ばれるだけあって、観光客などでとても賑やかで歩いているだけでとても楽しい場所でした。ライトアップされた建物や看板からは、沖縄ならではの文化や個性が感じられ、歩いているだけでも沖縄の魅力を実感することができました。夕飯はステーキ88で食べました。学生メニューがあり、ステーキを安くたべることができました。その後は、古着屋に行き、そこでお気に入りの服を見つけ、買うことができて嬉しかったです。最後は、様々なお土産屋さんを見て回りました。そこでは、限定のタンブラーなどを買ったり、家族と電話しながら何が欲しいか聞いたり、知り合いや友達のことを思い浮かべながらお土産を買うことがとても楽しかったです。また、国際通りでは観光客だけでなく地元の人々の姿も多く見られました。店員の方が丁寧に接してくださったことから、沖縄の人々の温かさを感じました。国際通りを歩いて見た景色や友達と歩いた時間などを大切にしたいです。



～首里城公園～

5日目は首里城公園に行きました。首里城公園は、琉球王国の王城であった首里城とその周辺施設を中心に整備された歴史公園です。

首里城公園では観光だけではなく、昔の沖縄の文化と歴史を感じることができました。建物の色や造りが美しく特に、園比屋武御嶽石門がとても印象に残りました。また他にも、首里城の内部にはさまざまな場所に昔の王様が祈りを捧げる場所があり、複数箇所が文化財や世界遺産に登録されていることを知りました。

首里城本殿を近くで見たときは首里城本殿そのものの歴史を身近に感じることができました。首里城の建物は赤を基調とした色使いや、中国や日本の影響を受けた独特な建築様式が特徴的でした。また、首里城はこれまでに度重なる焼失と復元を経験しており、1945年の沖縄戦、そして2019年の火災でも主要建物を失いました。その度に何年もかけて復元されていることからの復元が進められている様子を見て、首里城が多くの人々や地元の人に大切にされていることもわかりました。

今回の見学を通して、沖縄県独自の文化や歴史を学ぶことができました。建物の鮮やかな色や特徴的な造りが魅力的で、首里城公園についての理解が深まり、とてもいい経験になりました。



鍾乳洞～おきなわワールド～🦆

4日目の昼は沖縄ワールドへ行き、昼ごはんを食べてワールド内を見たりお土産を買ったりしました。沖縄ワールドは沖縄の独自の自然、文化、歴史を体験できるテーマパークでした。地下には鍾乳洞が、地上には伝統的な街並み、ハブ博物公園、熱帯フルーツ園、ショー会場など、見どころの多い場所です。

鍾乳洞の玉泉洞は約30万年の年月をかけて形成された全長約5kmの鍾乳洞です。玉泉洞に入るととても暑くジメジメしてました。進んでいくと鍾乳洞から落ちた水が大きい泉を作っていて、その中には生き物がいました。鍾乳洞には色々な名前があったり分厚いものや天井から地面まで繋がっている鍾乳洞などがあり壮大でした。

また、地上にあるフルーツ園では南国ならではのバナナなどのフルーツが木に実っている状態で見ることができたり、伝統的な街並みでは、沖縄ならではの家造りやガジュマルなどを見ることができます。さらに、ハブ酒の製造過程なども見れるため老若男女、楽しめるテーマパークです。



修学旅行

◎メンバー

入口煌生 大久保海里 加賀仁琉 藤田龍聖 安ヶ平蒼介



八戸駅から新幹線で東京駅まで行き、羽田空港から沖縄の那覇空港まで行きました。

飛行機は初めてで、これから空を飛ぶんだという興奮がおさまりませんでした。雲の上にいる感覚はとても不思議で迫力満点の美しい景色を見ることができました。

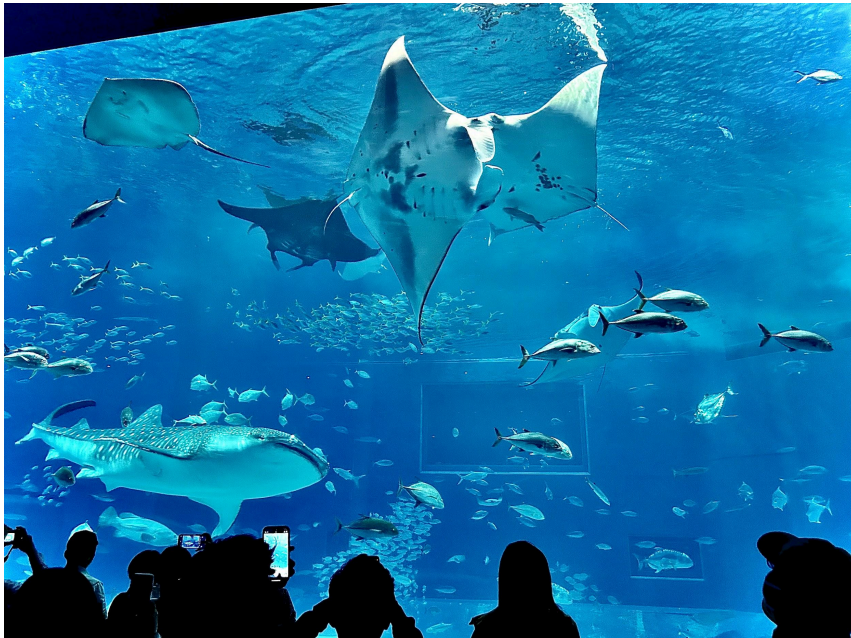
沖縄に着き外に出た瞬間、青森の冷たく痛い空気と違う生暖かい空気に優しく包まれ、ここが日本ではないような感じがしました。これから、どんなことが待っているのだろうと気持ちが高ぶりっぱなしの初日でした。

『スキューバダイビング』



僕たちは、二日間スキューバダイビングを体験しました。1日目の最初は、マスククリアや耳抜きの実習をしました。最初は、口呼吸をするのに慣れるのに時間が掛かりました。最初のマスククリアなどは、鼻に水が入ってとっても大変でした。陸にいるときより、水中の方が暖かかったです。2日目は、1日目にやった事を復習してからダイビングをしました。5mほど潜って水中の綺麗な魚たちを見たり、魚の大群に出会うことができました。みんな初めてのスキューバダイビングでも楽しく怪我なく終わることができてよかったです。

『美ら海水族館』

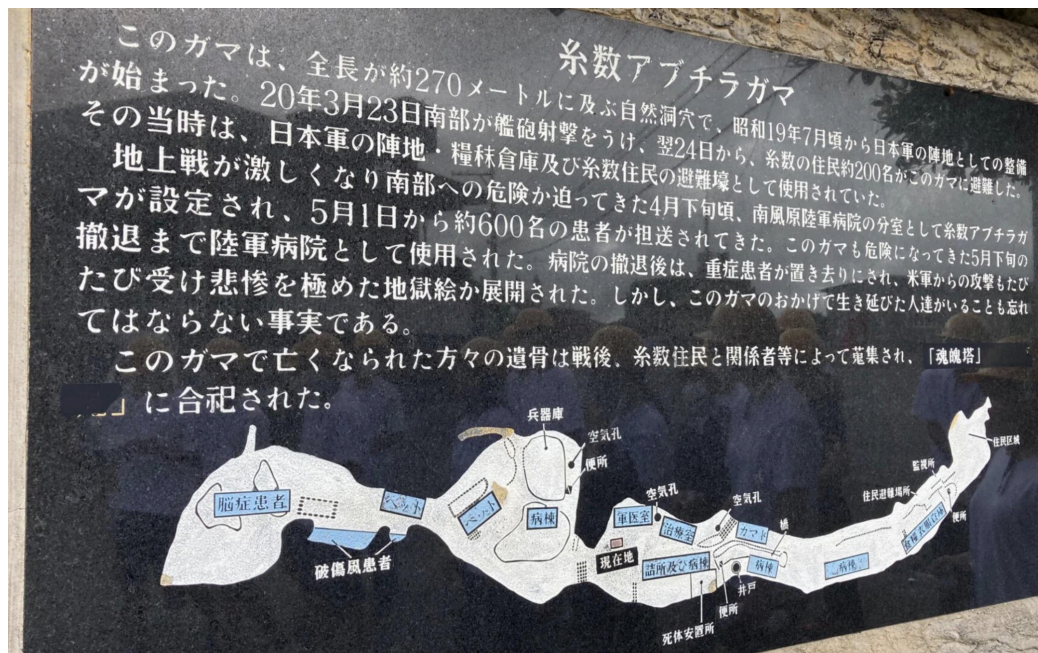


美ら海水族館では、八戸では絶対に見ることができないようなマンタやジンベイザメなどが巨大な水槽の中で泳いでいました。

また、普通の魚だけでなく様々な種類の深海魚やクラゲ、ウミガメまで見ることができ、今までに見たことのないスケールの大きさに感動しました。

館内は、たくさんの観光客であふれかえって混雑していましたが、賑やかで心に残る思い出になりました。

『平和学習』



アブチラガマは沖縄戦を前に日本軍の陣地として整備され、昭和20年3月、アメリカ軍の艦船が本島南部を攻撃対象とすると、周辺の住民およそ200人が避難し、さらに600人あまりの負傷兵が運ばれてきました。住民は重症の負傷兵に水を飲ませたり、食事を与えたりしながらアメリカの攻撃に堪えたと言います。

私たちは、実際に使われていた防空壕に入り見学しました。中の空気は正直なところ良いものではありませんでした。

しかし、戦時中にこの中で住民が必死に生きようとしていたのだと考えると今自分たちが普通に生活し、こうやって修学旅行もできていることがとても幸せな事なのだと感じました。

https://sensekisyokai.com/wp-content/uploads/2022/10/IMG_2682.jpeg

『自由行動』



自由行動で沖縄国際通りに行きました。

夕食は、ステーキ88で食べました。沖縄本場の食事は新鮮でとても美味しかったです。様々な文化があり、様々な人がいて愉快で楽しい街でした。

ホテルからの距離が離れており時間も少なく、夕食を確保することに精一杯で時間がなくなってしまいました。もう少し自由行動の時間が欲しかったです。

沖縄でびっくりしたことは店で働いてる店員のほとんどが外国人労働者であることです。日本語がやっと伝わるくらいでひやひやしました。

時間に余裕を持って、ゆっくりと買い物ができたらもっと楽しめたと思います。

最後の修学旅行 🌺 in okinawa 🌺

4B班長 沢上悠磨・木野・航平・萩口 翔介・多田 雄喜・三浦 風舞

1日目... ✈️

スポーツ科学科2年生はスキューバダイビングの資格を取るために沖縄へ行きました。1日目は移動で新幹線やモノレールで羽田空港に行きました。ほとんどの人が初めて飛行機に乗り、飛ぶ瞬間などとても面白かったです。



飛行機から見た沖縄

2日目... 🤿

2日目からいよいよスキューバダイビングをしていきます。私たちの班は午前中に勉強をして、午後に車に乗ってダイビングしにいきました。最初は道具の仕組みやつけ方、危険性などを教えてもらい、ダイビングの準備をしました。そのあとにシュノーケルを使って海に入り、息の仕方などを教わりました。最初に海に入った時、暖かいと思っていたけどとても冷たく寒かったです。そのあとポンプを使って海に入りました。少し進むと小魚がいたりさんごがあったり、とても八戸では見られない景色が見れました。インストラクターにリードしてもらって、ハンドサインを使って実際にレギュレーターという息をする部分を外し、付け直すということをしたり、何か問題があった時の対処法

などテストに出る部分を教えてもらいました。慣れてないので4回くらい泳いで海からあがるととても腰が痛く足も疲れて重かったです。

3日目... 🏊‍♂️

3日目は朝早くから海へダイビングしにいきました。本当は船に乗って沖まで行く予定でしたが波が強くてビーチからのエントリーになってしまいました。昨日の疲れが残っていてすこし体が思うように動かなかったのですが海へ入ると、とても楽しかったです。2日目よりもっと深いところに行き、復習をしたり新しいことを学びました。楽しくてとても一瞬に感じ、すぐに最後のダイビングが終わってしまいました。そしてホテルに帰ってから筆記の勉強をして、テストをしました。みんな頑張っていて、最終的にみんな合格することができました。そして夜は全員でバーベキューをしました。みんな疲れていたけどとても楽しくて面白かったです。



4日目... 🌺

美ら海水族館 🐟

4日目はまず最初に美ら海水族館に行きました。この水族館は日本に3か所にしかないジンベイザメがいて、今まで見た魚で一番大きく、とても迫力がありました。またさまざまな魚がいて、初めて見る魚や深海魚、淡水魚がいました。いれる時間は少なかったけど全部回ってみることができました。



ジンベイザ

おきなわワールド🐣

次におきなわワールドへいき、バイクで昼ごはんを食べました。またおきなわワールドには玉泉洞という鍾乳洞があり、他の鍾乳洞にくらべジメジメしていて暑かったです。玉泉洞の中はとても綺麗で幻想的でした。その他にもヘビが見れるところがあったり、お土産もたくさん売っていて沖縄にしかないシーサーなどがありました。



鍾乳石

アブチラガマ

四日目は平和学習の一環で糸数アブチラガマに行きました中はとても暗く蒸し暑くなっていて滑りやすくなっていて何度もころびそうになりました、アブチラガマの中はとても空気が重く感じて何人も戦争中に人が死んでしまったんだと再確認できた。中にいる間に10秒だけライトを消して全員で黙祷をした時は自分の手も見えなくなり真っ暗でとても怖かった。外に出た時の安心感がすごく地上で暮らせるありがたさがわかった。戦争は国の偉い人は得をしようと思うけど、国民はとても辛い思いをするので本当に戦争はすべきではないと思った

国際通り

4日目国際通りでは、様々な食べ物の店やお土産店がいっぱいあり、とても魅力のある場所でいろいろな店があり服屋や美味しそうな食べ物屋さんがたくさんあって楽しかった。オリオンTシャツやおしゃれな服を買うことができました。沖縄の街はとても彩りがありとてもきれいでした。修学旅行は4泊

5日あったはずなのに、目玉である国際通りはまさかの1時間ほどしかありませんでした。どこのステーキ屋も満員で、僕たちは夜ご飯を食べていませんでした。なのでラーメンを食べました。とてもおいしかったです。とても充実した修学旅行でした。

5日目...

首里城 

沖縄の最終日に歴史の教科書にのっている首里城に行きました。しかし首里城は火事の影響でまだ復元工事が終わってなくて門は見るのができたが城はみるができなかつたです。城に行くまでの道のりには水路があったり石垣があったりなどとても歴史を感じる事ができました。また私たちが知っているお城とは違い琉球独特の文化がすごかつたです。



首里城の入り口の門

感想

この修学旅行を通して全員が目標としていたスキューバの資格を取ることができてよかったと思います。またいろいろな場所に行ってみて沖縄の良さや文化などを学べたのでよかったです。アブチラガマや首里城など歴史に関わる洞窟や城などに行けてとても勉強になりました。多少のトラブルなどはあったけど特に問題はおきず、全員で無事に帰ってくることができてとても楽しかったし面白かったです。

修学旅行

5A班

越後 柚輝 舘野 勇翔

1日目は新幹線で東京駅まで行き、そこから電車とモノレールを使って羽田空港まで行きました。羽田空港でお昼ご飯を食べました。羽田空港から那覇空港まで行きました。



2日目の午前は、みんながスキューバをしているところを写真を撮ったりヤドカリを拾って沖縄の海を楽しみました。ビーチの周りを2人で一緒に走りました。特にビーチの近くにある広い海を見渡せる場所は絶景でした。午後は琉球村に行きました。琉球村には沖縄の民族衣装があり、カラフルな模様の服があり面白かったです。沖縄らしい建造物がたくさん建てられていて、歴史的文化を感じさせるものがありました。琉球村には伝統的な楽器があり笛や太鼓などが使われていました。2人で回っているときに笛や太鼓の音がしてきました。琉球村ではアイスクリームを食べました。エイサーを取り入れた伝統的な踊りを見ることができました。



3日目の午前にはピオスの丘に行きました。ここではサップ体験をしました。最初はバランスを取るのが難しかったですが、徐々に慣れていきうまくなるようになっていました。常に集中していないとすぐにバランスを崩してしまうので大変でした。次に船に乗って湖を回りました。船に乗っている時にガイドのお兄さんが様々な花の紹介をしてくれました。特にシャー

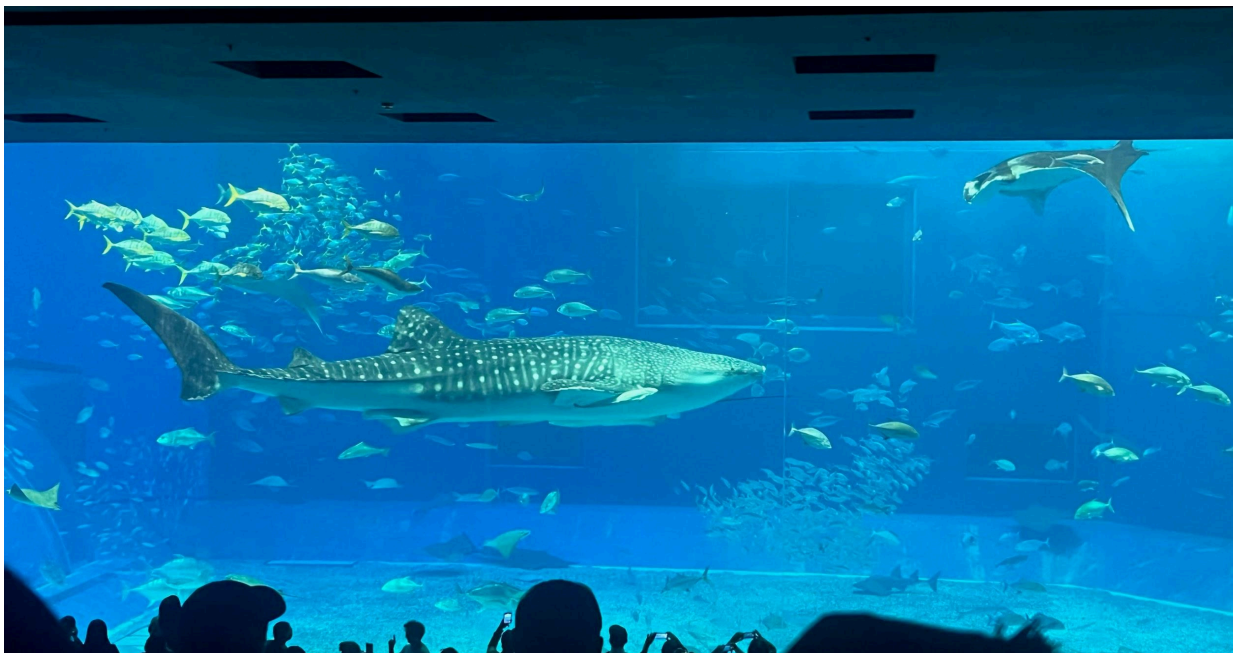
リーベイビーという花が咲いているところを通った時に船が近づいて花の匂いを体験することができました。シャーリーベイビーはチョコやバニラのような甘い匂いがしました。ピオスの丘にはとても大きな水牛がいました。水牛はとても体が大きく、牛と外見が全く違っていたので面白かったです。



3日目の午後は体験王国むら咲むらに行きました。ここではシーサーの置物を作ったり、文化的な建物を見て回りました。シーサーの置物を作る体験では、最初にシーサーの体の型を作ることから始めました。鼻、尻尾、耳、舌、眉毛などを粘土で水をつけながらくっつけて作業しました。しかし、中々上手に付けることができず時間が経つと乾燥してしまうため形を作ったらすぐにつけなければいけないことに苦戦しました。体の型が完成したらそれを加熱して固めて次は色塗りをして色とりどりのシーサーを作りました。色を塗ることにすごく時間がかかってしまったため作る過程が一番苦しかったです。しかし、完成した時は非常に出来栄が良く作り上げることができて嬉しかったです。三日目の良い思い出になりました。



4日目はまず美ら海水族館に行きました。とても大きな水槽で多くの魚が泳いでいました。特に印象的だったのはジンベイザメです。かなり大きかったです。水族館自体もとても大きく広がっていました。外に出ると目の前に海が広がっていました。



次は沖縄ワールドに行きました。ここではお土産を買いました。鍾乳洞にも行きました。鍾乳洞は涼しいイメージがある人も多くいると思いますが、この鍾乳洞は湿度が高くとても蒸し

暑かったです。地面も滑りやすかったです。地上よりも暑かったです。ライトアップされていて



とても綺麗でした。

次は糸数アブチラガマに行きました。ここは戦争で実際に使われた防空壕でした。アブチラガマでは沖縄で起こった戦いで避難して立てこもった人たちの悲劇や中がどんな構造になっているのか話を聞きました。中はすごく暗くて、ヘルメットとライトを持って階段を降りました。地面は濡れていて滑りやすくなっているため転ぶことができました。また、中には戦争時軍人や病人がどのように生活していたのか学ぶことができました。この体験は沖縄の歴史を深く知ることができ、とても印象に残りました。

夜は国際通りで夜ご飯を食べたりお土産を買ったりしました。88ステーキで夜ご飯を食べました。



5日目は首里城に行きました。首里城は2019年に火災によって主要な建物が燃えてしまいました。今は建設中です。建設途中を見る機会もなかなかないと思うのでとても良い経験

だったと思います。首里城にある階段を登ったところにある沖縄の建物はとても綺麗で普段は見るできない景色は絶景でした。





帰りの飛行機での昼ごはんです。沖縄料理のタコライスなど沖縄の食べ物がたくさん入っていました。飛行機から遠いですが富士山もみえました。羽田空港につき飛行機を降りるととても寒かったです。沖縄との気温差がすごかったです。羽田から東京駅までは行きと同じくモノレールと電車を乗り継いで行きました。八戸についたら東京よりもさらに寒く雪も降っていました。